

学校だより

令和7年7月18日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田 1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

1学期終了、そして充実の夏休みを

校長 石田 和男

本日で1学期の授業日が終わり、明日から夏休みになります。1年生は初めての中学校生活、2年生は校外学習(上野・浅草)、3年生は修学旅行や学校総合体育大会など、目の前のことに全力で取り組んできました。そのような中でも皆さんは、落ち着いた学校生活を送り、一人一人が自分の力を伸ばしてきた1学期だったのではないのでしょうか。個々の様子については、夏休みに入ってすぐの三者面談or二者面談で担任からお伝えいたします。3年生は、進路を踏まえての面談となります。1, 2年生は、三者or二者での面談となります。保護者の皆様には、お子さんが頑張っていることやこれから力を入れてほしいこと等を聞いていただくとともに、家庭での様子や心配事などをお話いただければと思います。有意義な時間としていきましょう。明日からの夏休みは、しばらく学校を離れて家庭での生活が中心となりますが、44日間、生徒が目標を持って過ごしてくれることを期待しています。



ここで、気象予報士でキャスターの蓬莱大介(ほうらいだいすけ)さんのエピソードを紹介します。蓬莱さんは、「どんなことも3年やれば変わるかもしれない」「苦手なことはできないのではなくて、人より多めにやる必要がある」と中学生の時に気づいたそうです。勉強は苦手だったけれど、カレンダーに勉強した時間を書くことをはじめて、毎日それを見るようにし、いつテストがあってもその日まで何をするかということも書くようになったそうです。すると、少しずつ勉強時間が増え、自信もついて成績も上がっていきました。そのうちこれらをノートに書くようになり、大学受験や気象予報士の試験、キャスターになった今も続けているそうです。

蓬莱さんと同じやり方を勧めるわけではありませんが、少しの「気づき」を行動に移すことで、自分の可能性を大きく広げていった良い例だと思います。ただ、どんなことであっても「気づく」ことは他人が教えられません。本人自身が気づいたときにそれが大きな力になっていきます。勉強でも生活でも将来のことについてでも、夏休みに自分の力を伸ばす「気づき」があり、それを行動に移していけると人間としての成長につながります。

また、交通事故やインターネットやSNSのトラブルにも十分注意が必要です。インターネットやSNS等についてもご家庭でルールを決め、それを守って使用させてください。

皆さんが2学期に心身ともに元気で、一回り成長した姿を見せてくれることを楽しみにしています。

夏の交通事故防止運動(7/15~24)

本運動では、①「自転車乗用時のヘルメット着用促進と交通ルールの遵守」②「子どもと高齢者の交通事故防止」③「飲酒運転の根絶」が、埼玉県重点として実施されます。令和6年中、県内の自転車事故で亡くなった方のうち、約半数が頭部の致命傷が原因です。また、ヘルメットの非着用の場合、ヘルメット着用時と比較して致死率が約1.7倍になります。先日の運動部の大会で会場に向かう際、交通事故に遭い救急搬送される事案が起こっています。そのことを受け本校では、9月末に行われる新人戦以降の教育活動下(部活動含む)でのヘルメットの着用がない場合は、自転車移動はできないこととしますので、早めにご準備ください。以前からお伝えしている通り、道路交通法で努力義務となっております。自分の身を自分で守るために、自転車乗用時には、おとなも子どもも着用をお願いします。